

脇本商事の繊維のネタ帳 Vol.147

知っておきたい繊維の知識～素材編④

こんにちは！

『知っておきたい繊維の知識(素材編)』(ダイセン(株))よりご紹介していきたいと思います。

【キュプラ】

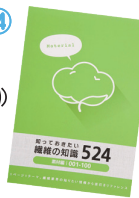
キュプラレーヨンとは、綿花を採取した後の綿実の表面に密生している2～6mmの繊維を原料としてつくられる再生セルロース繊維です。

単繊維の繊維は非常に細く、ドレープ性、絹のような柔らかい風合いと光沢、吸湿性が優れ、鮮やかに染まります。

肌着、スカーフ、裏地などのほかに合成繊維やウールなどと複合して吸放湿性と接触冷感に優れたアウター素材としても展開されています。

長繊維不織布も生産されており、セルロースの特性と長繊維のリントフリー性を兼ね備え、メディカル分野や工業用ワイパーなどに用いられています。

Vol.147



facebook情報宅急便！

www.facebook.com/kkwakimoto

こんにちは！ポピンです～♪
画像にあるのは「産業用フェルト」です。
フェルトといえば、手芸や小物につかうもの、またはじゅうたんやカーペットを想像するかもしれませんが。

フェルトが使われている分野は幅広く、手芸用、産業用、工業用など生活分野でも、産業分野でも用途に応じて様々な規格があります。
画像にあるフェルトは、主にインテリア分野や産業資材分野の材料として利用される「ウォッシュャブルフェルト」です。

素材はポリエステル製で、名前の通りウォッシュャブルフェルトですので水への対応も可能です。

手芸分野で見られるウール素材のフェルトもありますが、洗濯性に弱く水への対応力がありません。

一方、産業分野ではポリエステル製や、レーヨン・ポリエステルの混紡などが多く見られます。クッション性に優れていて、緩衝材や断熱性、保温効果もあります。



規格は100cm幅で50m巻になっていますのでジャンジャン使えます(笑)

産業分野の材料というのは、なかなか普段の生活のなかで直接目に触れることが少ないのですが、実は身の回りの社会を支えているうえ、なくてはならない重要な役割をしているんですよ～♪

この商品についてはこちらでも参考にご覧ください～。
QRコードからどうぞ→



NET PICKUP! 博報堂生活総合研究所による生活者の意識調査 定点調査で回答の変化を観測しています

生活定点より <https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2022-11/>

Q 2022年11月の消費意欲指数は？

最新(2022年10月上旬)調査結果

20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化 **45.8%**

前月(10月)より1.1↓ 前年(2021年)より2.2↓

コロナ禍の影響は影を潜めるも、物価上昇の影響が前月より拡大
消費意向は「旅行」のみ前年比増。食料品やイエナカ関連は低調

ラベルくん www.label-kun.com

～株式会社脇本商事のホームページリニューアルのお知らせ～

ラベルくん.comを運営しています脇本商事では、このたびホームページをリニューアルしました。生地をはじめ、副資材から梱包材など繊維製品の専門材料をピックアップしてご紹介しています。ぜひご覧ください～♪

<https://kk-wakimoto.com>



編集後記 合成生物学の時代ニッス

温暖化ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」への取り組みが話題となつた。化学合成品の原料を石油由来から生物素材に切り替えることが期待され、様々な話題が取り上げられています。

生物の力を活かして有用な物質を効率よく作る「スマートセル(人工細胞)」を開発する「合成生物学」で、その有名なものは「クモの糸」。

クモの糸の強度に着目して人工合成によるタンパク質素材を開発したのは、スバイバ社です。

研究開発を通じて蓄積した様々な遺伝子情報をもとに遺伝子をデザインすることによって、応じたタンパク質を生産して、シルクのような長繊維、綿のような短繊維、デニム生地、樹脂、ゲル、スポンジ、フィルムなどの生産も手掛けています。

米国では、2021年に合成生物学スタートアップへの投資が180億ドル規模にまで拡大しているほか、中国でも合成生物学戦略で1000億ドル以上の政府資金が研究開発に投じられているのだそうです。

生物で化合物を生産する仕組みが構築されることは、地球温暖化対策、持続可能性などの観点からも大きな意味を持ち、時代のニーズに期待がかかります。

現在はまだ石油由来の化合物に比べて生産コストの高いものが多いですが、技術開発は確実に進められているので合成生物学はますます発展していくように感じています。

【編集人/脇本康裕】

★ Gadget Star

便利な商品をインターネットから探してご紹介するコーナーです♪

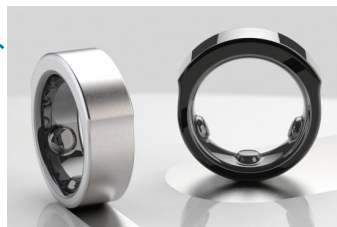
ガジェット通信より <https://getnews.jp/archives/3335663>

バイタルデータを取得・分析するスマートリング「SOXAI Ring」、追加予定機能にも注目

株式会社SOXAIは、バイタルデータを取得・分析する健康管理用スマートリング「SOXAI Ring(ソクサイ リング)」を開発中。

今年3月に開始したMakuakeのプロジェクต์では、公開後1分弱で目標額を達成、最終的に4600万円以上を集めました。なお現在は、公式サイトにて3万1482円(税込)で予約販売を実施しています(12月発送予定)。

同社はこのたび、総額3.15億円の資金調達を実施。新機能の追加開発などを加速させる見込みです。



バイタルデータを取得、分析結果はアプリで

「SOXAI Ring」は、心拍数・心拍変動・血中酸素レベル・体表面温度・活動量などを測定できる指輪型のウェアラブルデバイスです。

測定したバイタルデータは独自のアルゴリズムで分析。睡眠状態(睡眠時間・寝返り回数・呼吸が止まった回数など)やストレスレベル、活動状態(消費カロリー・歩数など)といったスコアをアプリで表示します。

装着負担少なく、さまざまなシーンで測定可能

同製品は、幅約7.6mm・厚み約2.5mmと超小型なため、ユーザーの負担を抑えたバイタルセンシングができるでしょう。

また、約1.5時間の充電で約7日間駆動するバッテリー、完全防水性能、機内モード搭載など、さまざまなシーンで常にバイタルデータを取得できる仕様になっています。

このほか、AppleヘルスケアおよびGoogle Fitとの連携機能や計7種類のサイズ展開もポイントです。

追加予定の機能も要チェック

同社は今後、測定・分析機能の高度化に加え、追加機能の開発も加速する構え。運動時のバイタル測定機能、血糖値関連指標の測定機能、生理周期トラッキング機能、感情状態分析機能、NFC決済機能などの追加を予定しています。

また、カラーバリエーションの追加やさらなる小型化といったファッション性の向上も進めていくとのことです。



※文章: ガジェット通信より抜粋

